

快適で効率的な ナースステーションをつくる

電子カルテシステム更新を契機とする 日本海総合病院の取り組み

近年、各病棟において、7対1入院基本料に伴う病棟看護師の増加や、電子カルテ導入に伴う各病棟でのIT機器の新規導入などの環境変化が起きている。ナースステーションの面積は従来のままなのに、人、物、情報が増えるという状況に直面し、動線や収納を整理・再編する必要性に迫られている施設も少なくない。

本号の特集では新病院の建築を取り上げたが、新築時や全面改築時でなくても、オフィス内の作業動線に詳しい専門家・企業などとの協働により、現状の課題を見直し、什器類の更新・再配置などを行うことによって、安心・安全な就労環境が実現できる。本誌では、電子カルテシステム更新を契機に、より働きやすいナースステーションづくりに取り組んだ地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構日本海総合病院看護部を取材した。

PC増台に伴う動線の煩雑化

日本海総合病院は病床数646床の庄内地域の中核病院である。わが国で初めて、県立と市立の2病院が経営統合して発足した施設であることから、全国的に注目され見学者が絶えない。電子クリニカルパスなどIT導入の先進施設でもある。

同院では2013年9月に電子カルテシステムの更新を行った。これを機会に、ノートパソコン（以下、PC）の更新・増台を実施、日勤看護師1人につき1台、1病棟あたり約13台のPCが設置されることになった。これは以前の2倍の台数に相当した。同時に、ベッドサイドでのリアルタイムの患者情報入力による業務効率化を目指して、PCと同じ台数のナースカートも新規導入されることになり、ナースステーション内の物品の収納場所や動線を整理する必要に迫られた。

PC増台に伴い、 ナースステーションが抱えた課題を解決

同院では、多くのスタッフが複数メーカーの製品を試用し、その結果、オカムラ（岡村製作所）製の「天板の高さ調節が可能なナースカート」



写真1

天板の高さ調整ができるナースカートを導入したことで、作業テーブルの下にナースカートの収納が可能になった。以前はフロアタップからのタコ足配線となっていた電源確保も、今はカートビッド上のマグネットタップからの確保が可能になり、安全衛生面からの改善もなされた。



写真 2

ワイドサイズのPC にぴったり合うサイズのナースカートを採用。訪室直後のリアルタイムな患者情報の入力が可能に。オカムラ（岡村製作所）では、「愛される病院づくり」をメインコンセプトに、働くスタッフ、患者・家族の双方にやさしい病院をつくるため、家具・什器の提供にとどまらず病院内のさまざまな空間に対するトータルソリューションを実施している。

「ナースカートとセット使用が可能なテーブルトップ搭載のカートピット（作業用テーブル）」の導入を決めた（写真 1, 2）。

この導入により、1 ステーションあたり 13 台のナースカートの効率よい収納、ナースカート上の PC へのスマートな電源供給が可能になった。導入前には看護部内で検討を行い、患者ファイル収納用の棚板の設置や、清潔用・不潔用（抜針など）のトレーを色分けして設置するなど、病院の使い勝手に合わせてカスタマイズを行った。導入前にスタッフ間で十分な吟味を行ったため、実際の運用にあたって大きな不具合は発生していないという。

ナースステーションの “ビフォー・アフター”

同院の市村ゆみ子副看護部長に 1 人 1 台の PC 導入、ナースカート・カートピット導入の効果についてお話を伺った。

「以前は PC の台数が不足していたため、互いに譲り合いながら使用するなど、業務効率化に課題を抱えていました。以前も PC 用ナースカートは病棟にありましたが、あまり使われない状態でした。特に午前中はベッドサイドでの情報収集後、ナースステーションで入力作業を行うなど多重業務になっていました。

しかし、現在ではナースカートで PC を持ち出し、訪室直後のリアルタイムな入力作業が可能になり、業務効率が格段に向上しました。カートのキャスターが静音仕様のため、夜勤帯でも気にせ

ずカートを持ち出せることもメリットです。人数の少ない夜勤帯では効率的な業務が求められるので、その場でスムーズに入力を終わられるメリットは大きいです。

また、カートの天板の高さ調節が簡単にできる場所もナースステーションの限られた空間を効率的に使うために効果を発揮しています。忙しい午前中は立ったまま入力作業をこなし、業務的に少し余裕の出る午後は座って作業を行うことも可能です。また、PC を使わないときには、テーブルの下に PC ごとカート进行収納することもできるため、フロアスペースに余裕ができました」

*

電子カルテシステムの導入は 400 床以上の病院でもまだ 56.9% に留まり¹⁾、今後も各病院で IT 導入に伴うナースステーションの環境変化が予想される。物品や什器の新規導入は病院経営にとって大きな投資となるため、後悔しない選定を行いたい。日本海総合病院の事例は、よりよいナースステーションづくりを目指す施設にヒントを提供してくれる。

引用・参考文献

1) 保健医療福祉システム工業会（JAHIS）：JAHIS オーダリング電子カルテ導入調査報告 2012 年版。http://www.jahis.jp/members/data_list/donyu20130603/（last accessed 2014/10/31）